

第1分科会

学習指導A

高橋 史朗 先生

<略歴>

- ◎ 麗澤大学特別教授、モラロジー道徳教育財団道徳科学研究所教授
- ・ 早稲田大学大学院修了後、スタンフォード大学フーバー研究所客員研究員
 - ・ 臨時教育審議会（政府委嘱）専門委員
 - ・ 国際学校研究委員（文部省委嘱）委員
 - ・ 神奈川県学校不適応（登校拒否）対策研究協議会専門部会長
 - ・ 青少年健全育成調査研究委員会（自治省委嘱）座長
 - ・ 仙台市男女共同参画審議会委員
 - ・ 「子どもと家族を応援する日本」重点戦略検討会議「地域・家族の再生」分科会委員（政府委嘱）



玉川大学大学院講師、親学会副会長、埼玉県教育委員会委員長、埼玉県青少年健全育成審議会会长、東京都男女平等参画審議会委員、明星大学教授、麗澤大学大学院特任教授を経て、現職。他、一般財団法人親学推進協会会长、日本家庭教育学会常任理事、日本マナーマイスター学会会長、日本佛教教育学会常任理事、日本健康行動科学会理事、日本感性教育学会理事、国家基本問題研究所理事、男女共同参画審議会議議員（政府委嘱）

<著書、共著・編著含む>

- 「悩める子供たちをどう救うか」(PHP研究所)
「教科書検定」(中央公論社)
「感性・心の教育（全5巻）」「癒しの教育相談（全4巻）」「平和教育のパラダイム転換」(明治図書)
「魂を揺り動かす教育」「教育再生の課題（上・下）」(日本教育新聞社)
「感性教育」「ホリスティック医学と教育」(至文堂)
「感性を活かすホリスティック教育」(モラロジー研究所)
「『学級崩壊』10の克服法。」(ぶんか社)
「日本文化と感性教育」(モラロジー研究所)
「ホリスティックな学校教育相談」(学事出版)
「親と教師が日本を変える」(PHP研究所)
「親学のすすめ」「続・親学のすすめ」(モラロジー研究所)
「親が育てば子供は育つ」「これで子供は本当に育つか」「親学対談」(MOKU出版)
「主体変容の教育改革」(MOKU出版)
「親学Q & A」(登龍館)
「脳科学から見た日本の伝統的子育て」(モラロジー研究所)
「家庭教育の再生 今なぜ『親学』『親守詩』か。」(明成社)
「日本が二度と立ち上がりれないようにアメリカが占領期に行ったこと」(致知出版社)
「『日本を解体する』 戦争プロパガンダの現在 W G I P の源流を探る」(宝島社)
「新・東京裁判論」(産経新聞社)
「W G I P と『歴史戦』」(モラロジー研究所)

日本モデルのWell-being教育

龍澤大学特別教授
モラロジー道徳教育財団道徳科学研究所教授
高橋史朗
令和5年8月5日

ウェルビーイングをめぐる国内の動向

2018年3月	自民党「日本ウェルビーイング計画推進プロジェクトチーム」が立ち上がり
2020年9月	『経済財政運営と改革の基本方針2020』に「人々の満足度（ウェルビーイング）を見える化」
2021年2月	自民党「日本ウェルビーイング計画推進特命委員会」が設置 菅義偉「ウェルビーイングの実現と考え方の両性は同じ」
2021年1月	『科学技術基本計画』にウェルビーイングに関する方針が明記
2021年4月	子供・若者育成支援推進大綱に「ウェルビーイングの視点が明記
2021年5月	『日本ウェルビーイング計画推進特命委員会』が次の4月の第4回提言 ①各種本邦国等におけるウェルビーイングの「ものさし」設定を本格化 ②関係者の知見向上・統計の改善 ③包括的な社会の構築による人と地域のウェルビーイング向上 ④ウェルビーイングの考え方の方針（大阪、2025）への反映
第5次提言	①「新しい資本主義」によるウェルビーイングと経済成長の好循環 ②ウェルビーイング中心のデジタル田園都市国家構想の実現 ③子供のウェルビーイング向 ④日本市場での指標づりなど、ウェルビーイングの国際発信（G1・万博など）

自民党特命委員会「第6次提言」意見書 抜粋

1. WHO執行理事会がWHO憲章全体の見直しに関して、身体的、精神的、社会的側面に加えて、スピリチュアルウェルビーイングの定義を追加するよう提案。スピリチュアリティに含まれる4領域と18回療育を明確化
2. 日本発のウェルビーイングとして国際発信に関して、2002年に日本が提唱したESDを元に、2019年の第40回ユネスコ総会で採択されたESDの新たな国際的枠組み「持続可能な開発のための教育SDGs実現にむけて(ESD for 2030)の実施を通じて、ESDの行動を拡大することを推奨する」
3. ウェルビーイング実施の場として、「特別教科 道徳」が注目され、「道徳教育においてウェルビーイングに関連した内容を取り入れることは重要」である。「日本社会に根差したウェルビーイング」を道徳教育として具体化するための理論と実践の往還を進めている

G7教育大臣会合・大阪万博で日本発SDGs・ウェルビーイングの国際発信を！

2023年2月	ウェルビーイング国際会議
2023年5月	G7サミットの諸国等として教育大臣会合でのような国際会議をするか
	OECDの「世界幸福度」の測定ガイドラインの見直し 「協調的幸福」尺度を導入し、主觀的ウェルビーイングと客觀的ウェルビーイングのバランス・調和を図る
2023年5月	国連教養Summit of the Futureの準備会合
2024年5月	国連教養Summit of the Future
2025年	大阪万博にて日本のウェルビーイングの見地を国際会議

SDGsを日本の「常若」の伝統文化によって創造的に継承・再発見し、
ウェルビーイングを「日本の幸福」「協調的幸福」で捉え直す国際発信こそが時代の要請

龍澤大学に新たに「サステナビリティ・推進機構」が創設4月から
モラロジー道徳教育財団道徳科学研究所内でもウェルビーイング教育に関する共同研究を推進
武藏野大学ウェルビーイングや将来年創設予定
SDGsとESDとウェルビーイングと道徳教育・家庭教育との関係についても研究と実践の往還を深めていきたい

次期教育振興基本計画の2本柱

(1)持続可能な社会の創り手の育成
(2)日本社会に根差したウェルビーイングの向上

教育再生実行会議 第12次提言概要
「スクール周辺における新たな学びの在り方に取り組む」

日本発well-beingの国際的な発信を 第6次提言取りまとめへ議論



新学習指導要領におけるESDの位置づけと3つの実践課題

中教審答申「ESDは次期学習指導要領改訂の全体において基盤となる理念である」「持続可能な社会の創り手の育成」

ESDを目指す「持続可能な社会づくりの構成概念」

- (1) 多様性（いろいろある）
- (2) 相互性（関わりあっている）
- (3) 有限性（限りがある）
- (4) 公平性（一人ひとり大切に）
- (5) 選択性（力合わせて）
- (6) 責任制（責任を持って）

文科省ESDの実践のための視点

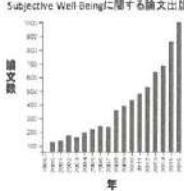
- ① どのように学ぶか
- ② 何ができるようになるか
- ③ どのように取り組むのか

ESDを適切に指導計画に位置付けること、地域や大学、企業との連携の視点を取り入れる、児童生徒による発信と学習成果の振り返りを通して行うことなどが重要

「感謝」学術論文が急増 ポジティブ心理学の「感謝」研究

Well-Beingの科学は世界的に進展中

Subjective Well Beingに関する論文出版数



WELLBEING AWARDS
開幕記念セレモニー

2021年
ウェルビーイング学会設立
代表理事 前川隆司
副代表理事 宮田拓也

あなたにしか
つくれない、
しあわせがある。

筑波大学
ウェルビーイング学部
Meiji University
Faculty of Well-Being
2024年4月開設。
(設置申請中)

**大阪万博のテーマ
SDGsからウェルビーイングへ**

「いのち輝く未来社会のデザイン
Designing Future Society for Our Lives

サブテーマ

Saving Lives Empowering Lives Connecting Lives

コンセプト - People's Living Lab -

1 展示を見るだけでなく、世界80億人がアイデアを交換し、未来社会を「共創」(co-create)。

2 万博会場前から、世界中の課題やソリューションも共有できるオンラインプラットフォームを立ち上げる。

「いのちを救う」「いのちに力を与える」「いのちをつなぐ」3 人類共通の問題解決に向け、先端技術など世界の英知を集め、新たなアイデアを創造・実現する場に。.

「鎮守の社」の破壊が教育に与える影響

南方熊楠が神社合祀に反対した理由

- ① 神社の命を殺戮する
- ② 人民の私和を妨げ対立を激化させる
- ③ 地方を脅威させる
- ④ 庄臣の慰安を奪い、人情を薄くし、風俗を乱す
- ⑤ 勇氣も損ず
- ⑥ 土地の治安と利益に大害
- ⑦ 損失史蹟と古伝の遺(いん)滅

明治政府の中央集権化政策の一環
町村合併によって神社の統合後を社進
数千年、数百年の間、神域の生態系を
守ってきた「鎮守の社」を破壊する

わが国特有の天然風景は、わが国の聖眞體ならん。
...凡人には景色でも眺めて、...人に言い頃、
みずからも歎美したがざるあいだに。
伊となく空語をほんやりと歌じ得(真知)。
しばらくなにも半日一日なりとも邪念を払い得、
...学校教育などの及ぶべからざる大教育ならん。
...監風ほど實に人生に有能なるものは少なしと紹るべし

南方熊楠

社の4つの意味 ——「根っここと翼」を与える神話の知

明星大学の高橋史朗氏は、「神社の社は『いやしら』といい、慈しの原点。神聖な場であると同時に心身ともに社と和むする場、いのちよみがえらせる場、健やかに元気に生きる場である」と、「境内で耳を澄ますと、苔を走る水音が響き、木々を鳴らす虫の音が聞こえる。「日本人の心の故郷」がそこになると結ばれていました。航寺の社の重要性を見事に言い表している文章と思いました。

東仁城主城下

「(神社の)伝統は日本の伝統文化に深く根差しており、慈しの場である神社にみんなが集まつて祭りをして祭りをして、願いや祈りや願いなどを通して、「神に使われる」福が舞えられ、裔りや相撲や競争、祈願などによって心が磨かれてきました。

日本には、古来より日常生活の御祓れを大晦日に Asi(アシ)流し、清淨な心身で新年を迎える、一年の「あわせ」を祈願する伝統がある。

1998年、当時英子皇后陛下が御謁されられた
春に心を育む「根っこ」と希望へと飛躍する「翼」を与えてくれる
おもてなしの心が求められています。

生きる力の「根っこ」と希望へと飛躍する「翼」を育ててくれる
のがく神話の知であり、神道の伝統的伝承観

上皇后陛下のビデオ講演 (国際児童図書評議会)

上皇后陛下が平成10年の第26回国際児童図書評議会における基調講演を紹介された。以下の愛と犠牲の物語で櫻庭姫と櫻樹姫の話を引用する。その上皇后陛下も上皇陛下を2度身を出して守ろうとされた。

昭和50年、沖縄ひめゆりの母
火炎機が投げられた瞬間、船下が櫻
太子殿下の前に立つと手を差しに
なり、手を殿下の前に伸ばし、身を擋し
て守ろうとされた

平成4年、第47回国民体育大会
幸いなことに発煙筒が殿下の近くまで届くことはなく、幸
いに床下のお音頭が中断することはありませんでした。
音頭が床下に落ちないと判断された音頭では、すぐに
お手を下ろし、音頭もなかったかのように元の姿勢に戻ら
れます。

「どこわか(常若)」の思想

服部英二

Sustainability『持続可能性』

『どこわか(常若)の世』

「どこわかの常若たずねにいへしかど
さうは立ちづなひ常若なりけり
いとなく者のよはをゆぢりはの
なむとこわかに重ゆべらなり
枝に霜降れどいや(常若)葉の木
枝は実まで花までともその葉まつ
枝に霜降れどいや(常若)葉の木

植物を植物に描いて表現
するのは、日本人の知恵

「勾玉」の文化と「どこわか」思想の接点

「神話の知」とは神話の根底にある「知恵」

勾玉は日本特有の遺産であり、「出雲の玉」の文化はじつに、北九州の宗像系の人々との接觸によって、そこに独自の勾玉の文化が築かれたという考え方!「宗像から出雲へ移った」

江戸以前は天変地異などの災異を理由に元号が改められる「災異改元」、「國生み神話」に書かれているイザナギとイザナミの「失敗」も「修復開成」(縁を修めてつくり固めなせ)

- ・ 多種多様な生命の循環、常若社会の実現
- ・ 常若という日本の伝統的な持続可能な考え方の上に立ち取り組んでいく
- ・ 日本のものづくりの神は、常若から始まっている
- ・ 「常若」とは『Sustainable』(持続可能)の言い換えではなく、持続可能な文化に精神性、地球と人類のあるべき姿の可能性を含んでいる。

まんが日本昔ばなしはウェルビーイングの宝庫

まんが日本昔ばなしエンディングテーマ「にんげんっていいな」

日本昔ばなしの世界

名前が古いおじいさんとおばあさんが多岐登場し、主人公の弱さや嫌な部分があるがまさに肯定し、成長しないという特徴がある。

語り継がれてきた日本の昔話には、欲や欲望を手放すことによつて福がもたらされ、ウェルビーイングが始まるといふ興味の物語が豊多くある。

日本語の「幸せ」の語源と原型としての『万葉集』『古今和歌集』

諱語 諱語に比べて日本の若者は自己肯定感が著しく低いと指摘されているが、自分で自分を肯定するのは「恥じない」という文化感覚がある

「幸せ」の語源は、お互いに何かをやり合ひ「(し)合はず」で、それが紀めて「仕合わせ」日本のウェルビーイングの原型は、人間関係の「専横」の中に見出すことができる

日本の歴史、文化の成り立ちから日本のウェルビーイングな状態、満たされた「幸せ」とは一体何か?

日本的ウェルビーイングの原義を明らかにする

やまと歌は、人の心を描として、よろづの言の葉とぞなれにける。世の中にある人、草薙、驚きものなれば、心に思ふことを、見るものの聞くものにつけて、言ひ出せとなり、花に鳴く聲、水にすむ蝶の声を聞けば、生きと生けるもの。いづれか歌を詠まざりける。

力をも入れずして天地を動かし、目に見えぬ鬼神をもあはれと思ひせば、男女の心をも和らげ、猛き武士の心をも慰むるは、歌なり

万葉集には、天皇から防人、夷人、農民など身分の食糧を問わず多様な人々の歌が収められている

- 41 -

七五調のリズムと日本語の特質

西洋の美を象徴する黄金比 (5対8)

法隆寺に現れる白銀比 (1対1.4)

見返り美人図
「君が代」も聖能太子の17条憲法も、宣願「はとぼっぽ」「雪やこんこん」も七五調のリズム

角田忠信『日本人の脳』

日本人の脳

音の認知
日本人と西洋人の比較

左脳 右脳
日本人 西洋人

出典: ONOSOKKI

日本文化から学ぶウェルビーイングの教訓

道元「仏道をならふといふは、自己をならふなり。自己をならふといふは、自己を忘るるなり」
何かを何かにならなくても(doing, becoming)、自分がいる(being)だけでよい

日本文化から学ぶウェルビーイングの教訓

- ① 「上より奥」の精神
- ② ハブニングを素直に受け入れてみる心
- ③ 人は多面的であることが当然という認識に立ち戻る
- ④ 自己肯定感の低さにとらわれすぎない
- ⑤ 他者の愚かさを許し、寛容に受け入れる姿勢を身につける

脳神経倫理学が解明した道徳の神経基盤

共感脳 (ミラーニューロン)
ワーキング・メモリー
進化脳 (前頭前野脳外側部)
セロトニン経路

出典: 高橋医院

他者理解はミラーニューロンシステムによるダイレクトマッチング
(他者の行為と自身の運動表象をマッチさせる過程)

出典: リカレント株式会社

中村桂子「生命誌絵巻」から見た生命の連続性

生命の幕さに關する學び
「自分」を中心にして、死と向き合う中で幕さについて考える

ヒトも生命の一部
6600万年前に地殻に隕石が衝突して恐竜が滅んだ
38億年
生命誌絵巻
生物の共通の祖先
生と死の關係の理
38億年前から連續と續く「生きもの」の壮大な進化の歴史から生命の幕さを捉え直す進化授業を実施

「幸せ4因子」と大谷翔平の「目標達成シート」を活用

「感知融合の道徳教育」に活かす「志道和幸」教育の実践
「幸せ4因子」を「感知融合の道徳教育」に活用
自分の内なる願いである「ワクワク」を見つけて書き出す
対話する「やってみよう!」の心を育てるワーク

出典: 大谷翔平の「目標達成シート」

目標達成シートに自分の夢・目標を書き込み、交流し、
「和を成す」時間として、
①導く、②つなぐ、③あいづら、④いいところ見つけ、
相手に喜び添う「対話」を通して相互理解を深め
「アクションプラン」を決定
相互にフォローし合って、自己受容・他者信赖を育む

幸せ実感する児童は4名から28名に

安倍元首相「美しい国、日本」の姿

安倍元首相の第一次政権発足直後の平成18年9月29日の第165回国会所信表明演説

私が目指すこの国のかたちは、活力とチャンスと優しさに満ち溢れ、
自律の精神を大事にする、
世界に開かれた「美しい国、日本」であります。この「美しい国」の姿を、
私は次のように考えます。

- (1) 文化、伝統、自然、歴史を大切にする国
- (2) 自由な社会を基本とし、規律を知る、憲とした国
- (3) 未来に向かって成長するエネルギーを持ち続ける国
- (4) 世界に信頼され、尊敬され、愛される、リーダーシップのある国

美しい国へ 完全版
安倍晋三
追求 安倍晋三
彼がここにある
追悼 安倍晋三二十九

世界が驚く日本の「学校清掃」

学校清掃
米大学院の授業で日本の「学校清掃」のビデオを見せた。
「学校清掃」は乗組の仕事というが「世界の常識」であり、「みんな自然」を掃除することによって、「内なる自然」である自分の心が蘇かるという発想がないことに気づかされた。

日本の学校教育では、スキルや知識だけでなく、「達の3原則」など、礼儀や心構え、態度といった「道」に通じる精神が重視される。「道」の思想は日本人の教育観に通じ、家庭でのしつけ教育や学校教育、社会教育などによって「道」は日本社会の構造まで渗透してきただけでなく、その「道」は日本社会の構造まで渗透してきていた。

「道」には、基本の「型」を自分のものとし、堅持することで独自の手法へと磨き上げる「技」(型を守り、型を破り、型から離れる「守破離」)の過程があり、この過程そのものが「道」にほかならない。「技」を体系立てたものが「道」であり、日本人の「道」には終わりがない。それ故にこそ、いつまでも謙虚に自らを磨き、世代を超えて伝承され、進化し続けていく

「しつけの三大原則」

一、朝のあいさつ
をする子に
二、返事のできる子に
三、席を立つたら
必ずイスを入れ
ハキモノを脱いたら
必ずそろえる子に
森信三

— 42 —

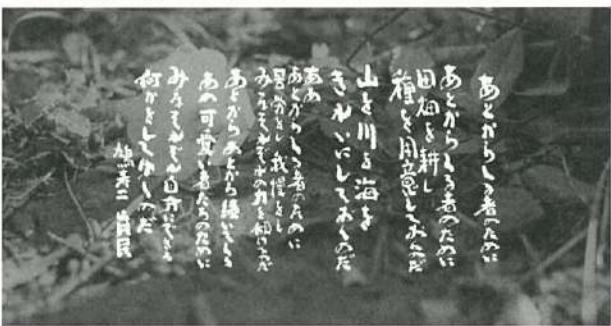
7県の小中高生が参加した「常若産業甲子園」プロジェクト

大人と子供の絆が薄れば、環境も産業も途切れてしまうという
未来を担う子供たちと知恵や経験のある地域の大人たちを結び付ける

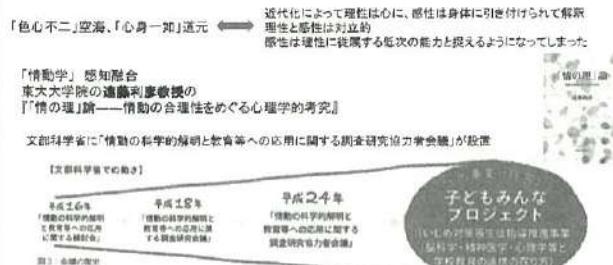


「常若」には日本の古き良き文化を重んじる意味があり、また、その時代の気候や情勢など、時代に合った新しい価値観で、伝統をも新しく変えていくことを含まれ、新しい状況に応じて柔軟に変化することも意味しているという。これは「伝統の創造的再発見」という概念にもつながる

坂村真民の詩「あとからくる者のために」に学ぶ



感知融合の「情動学」との出会い

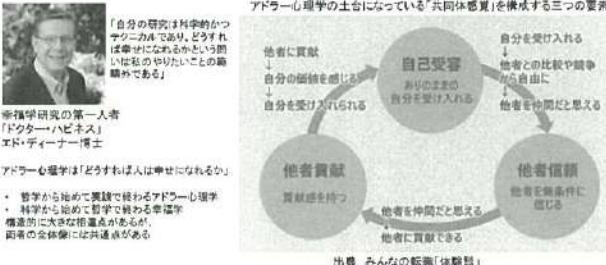


ポジティブ心理学の創始者セリグマンが提唱した 幸せの5要因=Well-beingの5要素

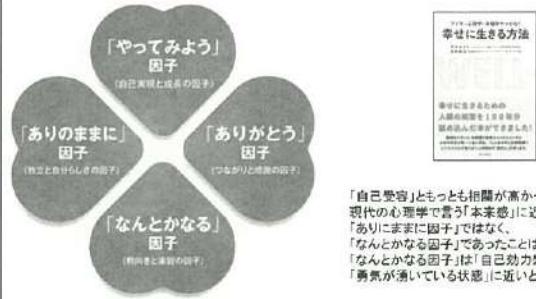


- Positive Emotion (ポジティブな感情)
 - Engagement (エンゲージメント、没頭)
 - Relationship (ポジティブな人間関係)
 - Meaning and Purpose (生きる意味・目的が明確)
 - Achievement/Accomplish (達成)
- を幸福を構成する5つの柱PERMA(パーマ)を提唱

アドラー心理学——「共同体感覚」の三要素

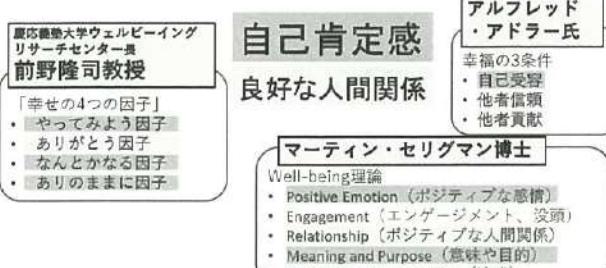


前野教授が発見した「幸せの4つの因子」



「自己受容」ともっとも相關が高かったのが、現代の心理学で言う「本我感」に近い
「ありのままに因子」ではなく、「なんとかなる因子」であったことは大変興味深い。
「なんとかなる因子」は「自己効力感」と相關が高い、勇気が湧いている状態」に近いという

ポジティブ心理学・アドラー心理学・幸福学の共通点



ハーバードの人生を変える授業 幸福の52の習慣

1 謝謝する	1 9 無駄な行動をする	3 7 仇敵をobservationする
2 賀優化する	2 0 いいところを探す	3 8 「ありがたい歌」をつくる
3 運動をする	2 1 「ありがとう」を言う	3 9 可能性を信じる
4 仕事への考え方を変える	2 2 回復する	4 0 人を单ぱす
5 意義を見出す	2 3 パートナーシップを築く	4 1 決断をする
6 思いややの心をもつ	2 4 解釈を変える	4 2 安心できる場所をつくる
7 困難から学ぶ	2 5 子を育てる	4 3 既成な関係をつくる
8 すべてをシンプルにする	2 6 これまでを振り返って	4 4 バランスをとる
9 プロセスを楽しむ	2 7 悲しみにうちかつ	4 5 お金で理解する
10 理解し、理解される	2 8 期待をコントロールする	4 6 率当の目標を知る
11 先駆から学ぶ	2 9 自分に優しくする	4 7 天職を見つける
12 完璧主義を手放す	3 0 成熟する	4 8 気持ちは切りかえる
13 価値ある行動をする	3 1 本来の自分にもどる	4 9 草く根を張る
14 安全感から出る	3 2 「わからない」を受け入れる	5 0 心をひらく
15 感情を味わう	3 3 嫉妬から学ぶ	5 1 未来からいまをながめる
16 一貫性をもつ	3 4 内なる声を聞く	5 2 全体を振り返って
17 瞳孔の瞬間につかむ	3 5 自分の感情を察する	
18 長期的な関係をつくる	3 6 受け入れる	

「集団的幸福」「文化的幸福」の日本モデル



文科省「教育改革推進モデル事業」として実証された研究

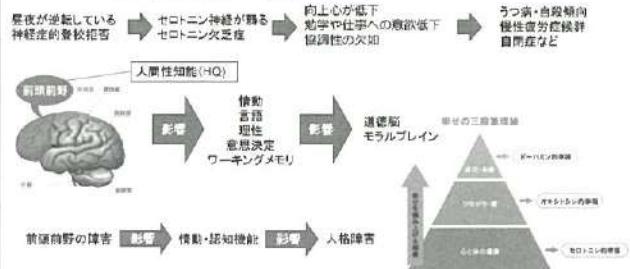


- その後の確認。有田先生いわく、言語脳に問題があるだけの場合は、非言語の和太鼓に反応できた時は十分納得できる事象である。
- ・和太鼓などの音楽のリズム、短歌、百人一首などの要素のリズム発現面で16ビートの音楽が流れている中で「体育ローテーション」のリズム運動
 - ・和太鼓という古代より受け継がってきた日本の「常若」の伝統文化を日本発のSDG・Well-beingの結晶として世界に発信し世界を元気にしてほしい

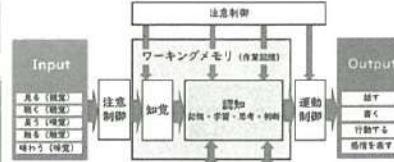
和太鼓者の木村氏への願い
・全国の学校で、不安と不調にさいなまれている子供たちに元気を与えてほしい
・和太鼓という古代より受け継がてきた日本の「常若」の伝統文化を日本発のSDG・Well-beingの結晶として世界に発信し世界を元気にしてほしい

セロトニン神経が活性化され、元気になることが脳科学の研究によって裏証

セロトニンと幸福、生命誌とSDGs、常若と道徳の関係 ——「科学倫理学」の現代的課題



函南さくら保育園『HQ教育メソッド』(どりむ社)



出典:認知機能の見える化プロジェクト

三池輝久『セロトニン欠乏脳』



セロトニン神経を活性化するリズム運動

埼玉県飯能市白鳥幼稚園の石川寅郎園長
和太鼓や腰鼓による発声練習や合唱、合奏、
声のキャッチボールであるフリューカード、百首そろばん、
16ビートの音楽を聞きながら体操ローテーション。
リズム運動によって常に含まれるセロトニン量が増えた

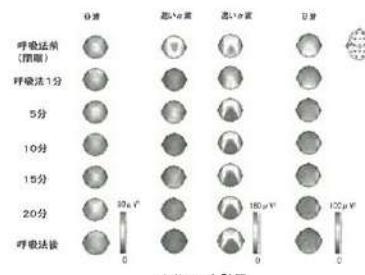
大阪府貝塚市木鳥幼稚園
体育ローテーション、諸語の素振り、
百人一首、リトミックなどのリズム運動
発達障害の症状が大きく改善する成果



出典 清水学園附属幼稚園

座禅が脳に与える影響

座禅の呼吸法による脳波の変化（トポグラフィー解析）



報告書

読経が脳に与える影響

唱題

南北朝の歌謡
通詞
詞書
通詞の歌謡
別題
歌謡
南北朝の歌謡
通詞
詞書
通詞の歌謡
別題
歌謡
南北朝の歌謡
通詞
詞書
通詞の歌謡
別題
歌謡
南北朝の歌謡
通詞
詞書
通詞の歌謡
別題
歌謡

備分

南北朝の歌謡
通詞
詞書
通詞の歌謡
別題
歌謡
南北朝の歌謡
通詞
詞書
通詞の歌謡
別題
歌謡

散文

三聖はやさうことなし。なお火宅のことをし。地獄を滅し
て、にはだ。燃ゆだし、この中に生老病死の憂患あり。三
つの火はさうのや。當然とてしてやます。

読経が脳に与える影響

読経中の脳波のトポグラフィー解説：説文と偏分の比較

出典：日本団体

茶道が脳に与える影響

初心にかかる
白百合幼稚園 藤谷 恵子

茶道が脳に与える影響

藤谷 恵子

和太鼓によって重度の障害児が大きく変化

脳科学を特別支援教育に活かす！
～脳と障害児教育～

講師 東京都立府中養護学校 教諭 坂口 しのり、氏
プロフィール

筑波大学人間教育研究科博士課程修了。宮西健史士、森井英樹准教授。現在、東京都立府中養護学校にて音楽療育に携わる。日本INMEAL研究会会員実践部、各種リハビリーションセミナー実践講師を務め、指導書の著者と指導書の著者に就いている。専門は、音楽実践研究及び不育児へのコミュニケーション指導。イシアルアップリース、鍵盤再生のコミュニケーション機能など。主な著書は、インアーリ・アプローチ(共著)、不育児教育実践開拓(共著)など。

和太鼓にて重度の障害児が大きく変化

文科省「教育改革推進モデル事業」として実証された研究

脳と障害児教育

有田先生
「音楽劇に問題があるだけの場合には、芦吉語の和太鼓に応戦できる事は十分納得できる事」

和太鼓奏者の木村氏への願い

- ・全国の学校で、不安とストレスにさいなまれている子供たちに元気をもたらしてほしい
- ・和太鼓という古代より受け継がれてきた日本の「常若」の伝統文化を日本発のSDGs・Well-beingの精神として世界に発信・世界を元気にしてほしい

和太鼓などの音楽のリズム、短歌、百人一首などの音楽のリズム、幼稚園で16ビートの音楽が流れる中で「体育ローテーション」のリズム運動、新道や腰経、諺語の音韻、朝日を浴びてリズム運動

セロトニン神経が活性化され、元気になることが脳科学の研究によって実証

国連事務総長が田中権宮司を「SDGs文化推進委員長」に任命した理由

SDGsは、もとよりはうかべだけのものになりがちです。
それは、本質の学習が示されていないからです。

グレース国連事務総長「日本人がもっと哲学の部分を充実してほしい」

世界の平和と持続可能性を考えたとき、日本の古来持ってきた精神の柱の知恵に内在する伝統的価値観や哲学を、教育や文化を通して世界中のの人々と共に共有するこれが最も大切への意識

日本の昭和時代においても、武士たちはお家の席に刀を持ち込むことは決してしませんでした。
日本人の心の根柢には、受け継がれてきた伝統と尊厳と人ととの付き合いに深く息づいてる精神が流れています。

農耕文化を通して、自然の恩みをいたゞいて育んできた。生かされていることへの感謝やおかげ様の心は、茶道や武道、和歌などの「道の文化」を生み出し、日本人の良識性、純神性を演じてきました。

ご先祖様が残してくれた文化が、人々と良好に連なる感覚を育み、さらに温故知新的思想を以てアップグレードしながら、過去から現在へそして次の世代へ繋げて行きたい

文化的根柢の本質に立ちのが私たちへの愛」

現代において世界中の人たちが求めている本質的な道徳は日本の哲学であり、それは世界と共有が可能

日本人の心の根柢には、過去・現在・未来に架がった歴史感――お互いの尊厳を願うという心――があつて、それを日本は常に温故知新的精神で今に受け継いでいる

南方翁翁は、神社と共にある「誠守の神」の重要性を指摘。つまり、人と自然が共に生きてきた祖先たちの功績を見直すことが必要

廣井良典京都大学教授「地球倫理」

持続可能な福祉社会=「定常化社会」

「鏡の森・自然エネルギー・コミュニティ構型」

「人類史における拡大・成長と定常化のサイクル」

新たな社会「Society 5.0」

20万年前 狩猟採集 食料に対して人が増えすぎると増加は止まり定常化

心のビッグバン

森林が始まり、再び人口増加

1.0 Society 1.0 時代

2.0 Society 2.0 時代

3.0 Society 3.0 時代

4.0 Society 4.0 時代

5.0 Society 5.0 時代

地球倫理 情報化・金融化

地図

「地球倫理」とGNH・GDWの新たな指標

1990 2000 2015 2030 2045

主導的ウェルビーイング
MDGs
SDGs
Well-being

精神革命
経済成長重視
→

精神革命
GNH(Gross-National-Happiness=国民総幸福量)

GNH(Gross-National-Happiness=国民総幸福量)

自然の具体的な事象の中に、単なる物質的なものを超えた何かを見出す自然観
自然は生きている、内向的なパワーが内在していると捉える「アニミズム」

日本の原初的な自然信仰や「八百万の神々」の日本神話の知

心の成長を目指す社会は、感性や創造性に訴えかけ、他者とのつながりを大切にする社会

経済指標では測れないGNHやGDWという幸福やwell-beingの新たな指標を導入し、一人ひとりが幸せに生きるために生き方、仕事、働き方とは何かという視点への転換が求められている

和太鼓奏者の木村善幸氏

17歳、18歳連続三味線全国大会2大会優勝
20歳で太鼓全国大会優勝

世界観客員員数は15万人を超える。
ロシアではマエストロ、
ドイツでは例外的音楽家との異名

22年 第51回『東久留高岡文化賞受賞式』

藤谷 逢司元道場大臣
「武士道精神」の武士道の3本柱は、
正しく道理に合っている「義」と、
勇猛果敢で死を恐れない「勇」と、
他者に対する努力の心、側面の情である「仁」

「義」「勇」「仁」

全国神社和太鼓・津軽三味線演奏と 「常若・志道和幸」教育トークショー企画



石清水八幡宮椎宮司
田中勝清氏

唯一無二の和太鼓・津軽三味線
二刀流演奏家 松村喬氏

龍潭大学特別教授
高橋史朗先生

「道徳的実践意欲と態度」につなぐキーワードは「願力」

感性とは

創造性の原動力
真善美の創造の原動エネルギー＝「願力」
道徳的心情と道徳的判断力がこの「内なるくいのち」の叫び」

自己の願いと重なったときに
「道徳的実践意欲と態度」へ

感知を養育一体のものとして捉える「情動学」
情動的共感（道徳的心情）と認知的共感（道徳的判断力）を

道徳的実践意欲と態度につなぐ鍵となる「願力」、

一人ひとりの「内なるくいのち」の叫び」を

「感じ、見つめ、深める」ことが

「行動への動機付けや方向付け」

「道徳的実践意欲と態度」に直結する。

内なる理想に基づく至上命令として

「志を立て」

「道を求める」

「和を成して」

「幸せを実感する」

安倍元首相の座右の銘

我い千な自
行え万おら
かど人く頑
んもどんみ
もばて

「常若・志道和幸」教育



和して同ぜず

和の精神の「発展」 (共生、共活、共創)

共生:多様性の尊重
共活:多様性を活かす
共創:異なるゆえに事成る

和をもって尊しとなす

志を立て
道を求める

Well-being 和を成して幸福を感じる

- 1 SDGsが抱える根本問題とSDGsを補完する日本の哲学・思想
- 2 SDGsからウェルビーイングへ
- 3 日本社会に根差すウェルビーイング
- 4 感謝が幸福に及ぼす影響
- 5 ポジティブ心理学・アドラー心理学・幸福学の共通点
- 6 日本人の「文化的幸福」「集団的幸福」観
- 7 感知融合のウェルビーイング教育
- 8 日本モデルのウェルビーイング教育
- 9 「常若産業甲子園」の先駆的取り組み
- 10 「祈りプロジェクト」を国連と全国の神社で展開

